

## にんじん

農薬取締法上「にんじん」は根を食用するものに限られるため、「にんじん」または「根菜類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

葉を食用にする「にんじん（葉）」については、「にんじん（葉）」または「根菜類」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。ただし、「にんじん（葉）」は平成31年4月に「せり科葉菜類」から「根菜類」に分類が変更されたが、既に「せり科葉菜類」に登録のある農薬は、「にんじん（葉）」（専用栽培）に使用可能である。

————— 発病・加害時期  
 ============== 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
夏まき						● は種	~	●					収穫
黒斑病						—————							
黒葉枯病類						—————							
アブラムシ						—————							
ヨトウムシ						—————							
ハスモンヨトウ						—————							
キアゲハ						—————							

## 黒斑病

### 留意事項

- 1 夏～秋に降雨が続くと発生する。
- 2 収穫物にり病根が混入すると、貯蔵中に接触伝染により蔓延する。

### 防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 肥切れさせない。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。  
 ・ [ダコニールエース](#) <M5> 【750倍 7日／5回】

## 黒葉枯病

### 留意事項

- 1 高温乾燥時に発生しやすい。
- 2 ダコニール1000、ダコニールアルファに含まれる成分TPNの総使用回数は、5回以内（種子への吹き付け処理は1回以内）なので注意する。
- 3 QoI剤<<11>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## 防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 収穫後は、被害茎葉を集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 7日/5回】
  - ・ [ダコニールアルファ](#) <M5> 【2000倍 7日/5回】
  - ・ [ベルコート水和剤](#) <M7> 【500~1000倍 14日/5回】
  - ・ [クプロシールド](#) <M1> 【1000倍 発病前~発病初期/ー】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アフェットフロアブル](#) <<7>> 【2000倍 7日/3回】
  - ・ [ファンタジスタ顆粒水和剤](#) <<11>> 【3000倍 3日/3回】
  - ・ [ロブラール水和剤](#) <2> 【1000~1500倍 14日/4回】
  - ・ [アリエッティ水和剤](#) <P7> 【800倍 7日/3回】

## アブラムシ類

## 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4A> 【2000倍 7日/2回】
  - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4A> 【4000倍 前日/3回】
  - ・ [ベネビアOD](#) <28> 【2000~4000倍 前日/3回】
  - ・ [気門封鎖剤](#) <ー> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

## ヨトウムシ

## 留意事項

- 1 老齢幼虫への効果は劣るので、若齢期の防除に重点を置く。

## 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [カスケード乳剤](#) <15> 【4000倍 3日/2回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <13> 【2000倍 前日/2回】
  - ・ [フェニックス顆粒水和剤](#) <28> 【2000~4000倍 前日/2回】
  - ・ [BT剤](#) <11A> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

## ハスモンヨトウ

## 留意事項

- 1 老齢幼虫への効果は劣るので、若齢期の防除に重点を置く。
- 2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

行う。

#### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ディアナSC](#) < 5 > 【2500～5000倍 前日／2回】
  - ・ [プレオフロアブル](#) < UN > 【1000倍 前日／2回】
  - ・ [ベネビアOD](#) < 2 8 > 【4000倍 前日／3回】
  - ・ [アクセルフロアブル](#) < 2 2 B > 【1000倍 前日／3回】
  - ・ **BT剤** < 1 1 A > (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

### キアゲハ

#### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) **劇** < 4 A > 【4000倍 前日／3回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) **劇** < 1 3 > 【2000倍 前日／2回】
  - ・ [ベネビアOD](#) < 2 8 > 【4000倍 前日／3回】

### センチュウ類

#### 留意事項

- 1 SDHI剤<< 7 >>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

#### 防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 土壤消毒を行う。(XⅢ土壤消毒 参照)
- 3 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ネマトリンエース粒剤](#) < 1 B >
    - 【ネグサレセンチュウ 20kg／10a 全面土壤混和 は種前／1回】または
    - 【ネコブセンチュウ 15～20kg／10a 全面土壤混和 は種前／1回】
  - ・ [ネマクリーン粒剤](#) << 7 >> 【ネグサレセンチュウ・ネコブセンチュウ 10～20kg／10a 全面土壤混和 は種前／1回】
  - ・ [バイデートL粒剤](#) **劇** < 1 A > 【ネグサレセンチュウ・ネコブセンチュウ 20～50kg／10a 全面土壤混和 は種前／1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。